

認定団体に申請して研修室を便利に利用しませんか？

市民活動団体やボランティアグループの皆さまがあらかじめ認定を受けると、総合ボランティアセンターの研修室が無料で使えます！

認定を受けるためには、要件を満たした上で申請をすることが必要です。
要件や申請方法については、市のホームページをご覧ください。

プロジェクトやマイクも
お使いいただけます！

会議や研修会などに
お使いください！



要件や申請書は
こちら！

平成30年度中に認定を受けた団体も、改めて更新の申請をお願いします

ボランティア募集情報

詳細については、福井市ボランティアセネットなどでご確認ください！

福井市ボランティアネット

| タイトル | 日時 | 会場 | 内容 |
|--|---|-----------------------------------|--|
| 子育て支援記念講演受付・誘導ボランティア募集 (主催：NPO法人 福井クラシックカー協会) | 2019年5月5日(日) 14:00~16:00 (講演は、16:00~) | 福井県産業会館 2階大ホール (福井市下六条町103) | 子育て支援記念講演(講話：河野景子氏) 開講までの受付・場内への誘導ボランティアを募集します。 募集人数：5名(先着順) 申込先：同協会まで。0776-56-8568 ※開講後は、記念講演をお楽しみください。 |

助成金情報

詳細については、各助成機関のホームページなどでご確認ください！

| 助成金名(助成機関名) | 助成対象事業 | 助成金額 | 募集締切 |
|---|--|--|--|
| 福井市民間活力をいかした京都の顔づくり事業 (福井市 都市戦略部 都市整備室) | 中心市街地等において、景観形成等のハード事業や魅力の発信を行うイベント等のソフト事業 | <ハード事業> 上限200~1,000万円 <ソフト事業> 上限100万円 <small>※補助率、上限は対象事業によって異なります</small> | <1次募集> 平成31年5月10日(金) <2次募集> 平成31年8月30日(金) |
| 2019年度 ふくしん地域振興協力基金 助成事業 (公益財団法人 ふくしん地域振興協力基金) | ・地域産業の振興と発展に関する活動 ・地域の社会福祉に関する活動 ・その他地域社会の振興発展に関する活動 | 事業活動の企画実施に要する経費の50%以内 | 平成31年4月26日(金) |

福井市総合ボランティアセンター

TEL 0776-20-5107 FAX 0776-20-5168
E-mail volunteer@city.fukui.lg.jp

福井市総合ボランティアセンターでは、こんなことができます。

- 相談受付
- 情報提供
- 講座・交流会の開催
- 活動場所の提供
- 設備・備品の貸出し

〒910-0006 福井県福井市中央1丁目2-1
(JR福井駅西口 ハピリン4F)

開所時間 / 9:00~21:00(土日は17:00まで)
休所日 / 月曜日、祝日(土日を除く)、年末年始

福井市ボランティアネット
<https://www.fukui-volunteer.net/>

ボランティア情報発信中！



福井市総合ボランティアセンター 2019 平成31年 3月発行 総ボラ通信 12号



(特非) 福井犬・猫を救う会 NPO法人設立10周年記念講演
~今私たちにできることは~

福井市「ふくい市民活動基金」助成事業

保護された犬猫の里親探しや野良猫の不妊手術などの活動を行っている(特非)福井犬・猫を救う会の設立10周年記念イベントが2018年11月25日、県産業会館で開催されました。この講演会は、「ふくい市民活動基金」の助成金を受けて実施されました。



動物愛護活動に取り組む(公財)動物環境・福祉協会Evaの理事長で女優の杉本彩さんが「人と動物が共に幸せに暮らせる社会の実現に向けて」と題して講演。(公財)神奈川県動物愛護協会常務理事で獣医の黒沢泰さんによる「飼い主のいない猫のトラブル解決法(地域猫活動のすすめ)」、シンガーソングライター、ヒナタカコさんによる「人と生きものたち」をテーマにした曲の発表がありました。
動物虐待の現状を語る杉本さんの熱弁に、涙する来場者の方も見受けられました。

参加者は300人以上



ロビーにて



犬の十戒(やくそく)



市民活動団体講座 開催報告

(2/6)自分が主役!「市民活動のかたち」



市民活動をされている方やこれから始めようとする方を対象にした、自分達に合った活動方法を考える講座を開催しました。講師の阿部氏は、企業や団体のサポートとして企画、運営、分析までされる経験豊富な方で、参加したそれぞれの団体に的確なアドバイスをされ、活動の方向性や意欲を高めることができました。

最後は、参加者で名刺交換などを活発にされ、団体同士で繋がりをもって終了となりました。皆さんが、楽しそうにイキイキとした表情になられて帰られたのが、とても印象的でした。

(2/16)市民活動を応援する「助成金合同説明会」



説明会は助成事業を行う7団体の担当者から、市民活動団体やグループが取り組む事業への助成金制度について、助成対象の分野や枠組みなど詳しい案内がありました。参加者は、36団体と個人の38名。自分達の活動目的に沿った助成金はないか、説明を聞かれていました。対象となりそうな複数の助成制度があり、申請を検討したいという団体もありました。

はじめてのボランティア × 福井高校インターアクト部

12月8日(土)に、福井工業大学附属高等学校インターアクト(IAC)部員18名が、部活動の一環として、「はじめてのボランティア」(ミニ講座)を受講し、ボランティアの考え方や心構えを学び、理解を深めました。

インターアクトクラブとは、ロータリークラブ直営の青少年または高校生の奉仕活動クラブで、日本では、高校生の福祉・ボランティアの部活動として取り組まれています。県内では福井高校、啓新高校、武生東高校、敦賀気比高校の4校にあり、福井高校は福井南ロータリークラブと共に活動をしています。

部の活動としては、あしなが学生募金活動や河川等の清掃美化活動の他、ロータリークラブの例会やIAC地区大会に参加する等、学びを深めると共に実践活動を行っています。インターアクト部では、すでにいろいろなボランティア活動を実践していますが、今回は、改めてボランティアの意義を確認し、日頃の活動を振り返る時間として受講してくれました。

インターアクトの語源

「International(国際的)+Action(活動)」を組み合わせた言葉で、「地域社会への奉仕」と「国際理解」をテーマに掲げ、積極性やリーダー性を育み、次世代に活躍できる人材の育成をめざしています。

「ボランティア」は、**自分の意志ですすんで活動**だということがわかりました。

ボランティアの**意味、語源**を知ることができました。

DVDを見て、お話を聞いて、**誰かのために、社会のために頑張る姿に感動**しました。今後は積極的に活動をしていきたいと思えます。

人との助け合いの大切さをあらためて感じる事ができました。



市民活動団体紹介

福井クラシックカー協会



同協会は、毎年5月5日に「クラシックカーミーティング」を開催しています。100台以上の車が集合し、来場者は何千人も集まります。開催目的は「クラシックカーを見て、懐かしく、良き思い出に慕って貰い、明日の活力にしてもらおう場」を提供する事だそうです。

6年前からは、協会設立時より思っていた「子育て支援」に関して、有名人に体験からくる「こども」をテーマの講話をしてもうことで、聴講者には、「自分に合った生き方を学んでもらいたい」と講演会の開催を始めました。子育て支援も、協会名からは想像がしづらいですが、「クラシックカーミーティング」の目的と同様に人への思いや優しさを大切に欲しい願いが込められています。

ここにクラブ SUNFISH



知的障がいや発達障がいをもつ4歳児から成年までの会員へ、イラストで何をするかを示したカードなどを用いた視覚支援を行いながら、水泳教室、外出などの日常マナー教室、家族支援をしています。会員は水泳を通して体力をつけるだけでなく、スケジュールをこなすことやコミュニケーションについても学んでいます。

プールでは、専用コースを使用しますがコースロープで仕切られているだけで、一般の利用者といっしょに泳ぐことで社会ルールも学んでいます。

本業を活かした社会貢献活動! ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

~当センターとNICE 北陸国際ワークキャンプセンターが中間支援(コーディネート)を行いました!~

医療機器関係の製造・販売のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社(北陸一帯の営業所)は、社員の声を受けて2016年から社会貢献活動を開始。今回は、1月27日(日)に開催した「オレンジカフェあさむつ」(社会福祉法人新清会)を訪れました。オレンジカフェは、月1回、認知症の方やその家族だけではなく、地域の人々も気軽に立ち寄れる交流の場です。

今回は、企業の本業を活かした社会貢献活動として健康講座を開催し、「心房細動の予防と治療」について参加者30名に理解を深めてもらうと共に、交流を楽しみました。参加者からは、「心臓をやけどさせるとなぜ治るの?」「心房細動の手術の成功率は?」など多くの質問が寄せられ、健康に対する関心の高さが感じられました。

活動に参加した社員の小山佳奈美さんからは、「これからも社会の役に立つ活動を続けたい」「いろんな団体等と連携して社会貢献活動の幅を広げていきたい」と意欲的に話されました。

当センターでは、「社会に貢献したい企業」と「企業の応援がほしい地域や団体」をつなぐ役割として、これからも社会貢献活動を応援していきます。



企業で製造しているボディークリームを参加者のみなさんいプレゼントする社員